

福祉の仕事の魅力を広い世代に伝えるため、福祉施設で働く若者の「声」を紹介するシリーズ。第2回は特別養護老人ホーム「グループの里」(南区西大沼)で働く赤井孝啓さん(32)。

母親も兄も介護の現場で働いているという赤井さん。高校時代、興味を持っていた調理か介護かで進路に悩んだ際、母親が「介護の道を選んでみたら」と声をかけてくれた。「仕事で体験したことや、やりがいなども色々教えてくれました。それで福祉の専門学校に進学することを決めました」



やりがいについて語る赤井さん

福祉のしごと・魅力発信② 企画/相模原市社会福祉協議会

## 「楽しんで、楽しませて」

特別養護老人ホームグループの里勤務 赤井孝啓さん



卒業後は小規模多機能型ホームに就職。その後、特別養護老人ホームでの勤務を経て、1年前にグループの里で働き始めた。

仕事内容は入居者の日常生活をサポートすること。入浴や食事から些細なことまで、どれも大事な仕事だという。「施設の人たちは自分の身内のように。笑顔が見られたり、冗談を言い合えたりするのが何よりの幸せ」と語る赤井さん。結婚の心配や生活へのダメ出しをもらうなど、まさに大きな家族のようだ。「常に楽しんで生活してほしいし、自分も楽しんでいきます。お年寄りが好きなら、やりがいも満足も得られる仕事だと思います。僕たちと一緒に働きませんか」

### ■グループの里

南区西大沼5の4の20

☎042・741・0054